

森相會意思的

平成31年3月31日 発 行

第 123 号



第24回造林コンクール表彰授与式

最優秀賞 由利地域振興局長賞 【収穫間伐の部】寺田集落財産区 区長 須田和夫(仁賀保地区)

本荘由利森林組合

由利本荘市水林381

TEL 0184-24-4141 (代) FAX 0184-24-4143

HP http://www.honmori.com/ メール honmori@trad.ocn.ne.jp

により総代決

夫

深 本

鳥

 \mathbb{H}

谷法目田堂

X

Щ

生野山川沢荘野

上

薬師

上

Ш

口堂

たため無投票で総代が3 ました。 年間 区から第8区までの総代の方々は 31 年 5 によろし 月 8 くお の 日 選挙区で総代候 任 願 期 深満了に (1 月11日付で決定し いたします。 に伴う当 者が 組 次の通りと 合 (届 総 まし 出 代 を超 選 挙 なり え が な 執 か行

今 石 斎 須 半 佐

月 夫 貢 栄

小 桂

国 坂

博 透

出室

戸 沢

<u>\</u>

居

地

小

砂

Ш

飯

金好壽

57名)

菅 菊 藤 井 小 佐 松 鈴 有 三 齋 田 太 斉 加 板 小 原 畠 井原 池 原 島 松 々 田 木 馬 浦 藤 口 田 藤 藤 垣 松 田 山 島 冨 松ケ崎 地 沢

大原工小冨田阿小田鷹渋成猪菊伊小小渡庭田藤川樫口部松口島谷田股地藤松松会 猪猪 遠 干 嵐文夫 長者屋敷 船 袖 岡

謙 正 敏 郎 誠 大中ノ沢 山 沢 沢 町 舘

髙

橋

IF.

知

嶋

美文 惠悦

佐 齌

Þ 藤 木

院院川長両

内袋

齌

博

鮎瀬新田

坂 **ジ**下

薬師

佐小佐

野藤

荘

矢 藤

整

院

内内

菊 細

和 良

夫

辰

砂

川田

高 鈴 田 岩 鎌 小 加 高 \blacksquare 橋木中出 松藤 卓利和健 世次市雄 下万願寺 ШШ

股 股

下 菊

部

春男

前

喜

彻

出 寺 居地

文 勝登 彦弘

野

重

藤 藤 Z 木 紀 博 伸明 居

(仁賀保地区 43

田

畑葛

選 高

渡 鈴 須 木藤

須

場 畑

伊勢居地 土 木 豊田 村島 佐 柴 田 土 矢田 越 真坂 浦 田村 覚実 男 明郎 美 郷内、 間木、 砂木 七 中 須 \mathbb{H} 日 屋 郷 中 新町 御嶽 町 敷 越所 町 沢 \mathbb{H}

三堀田田伊菊佐渡浦井口口藤地藤部 渡辺 吉尾 那 今 田 須 野 口 今 那 野 須 重 修 弘 君 泉 滝 勝 道 滝 新 蛇 手川 俣田 俣部 野

小 田 小 小 浦 目 国 抓 滝 滝 田 木 加佐早佐 Þ 木三彦

上

小

玉

| 勢居地

野

治

郎 在杉

> 第 X

(岩城地区 25

佐 佐 佐 々 藤 藤 代佐村佐 金 表藤 浦 子 上藤 喜 直 淑 男 針 坂 九 沢 滝 日 町

当組合総代選挙執

尾解谷 庄 植 鈴 佐司 村 木 藤 石 垣 Ш (由利 武 幹 和 市 地 重 雄 黒 森 堰 大 中 飯 東 曲 館 中 井 山沢町沢敷子口町畑沢町沢沢地 沢 沢

今野 加田佐丸 金佐 \Box Þ Щ Þ 田屋 7小右衛門 木榮 木 Ė 良 市 眞 六呂 上蛇 高 町 泉 勝 下 赤 黒 蛇 田手 畑 亚 田 Ш 田 田

第 $\overline{\mathbf{H}}$ 区

35 名 渡部 村上 木村 村上 木内 村上 佐藤 田 嶋 金次 市 隆

小 佐田 藤 藤 郎 明 新 明 南 浦 寺 米 \mathbb{H} Ш Ŧi. 屋 上 福 + \mathbb{H} 敷 田 山 沢 代 本 土 \mathbf{H}

 \mathbb{H}

勲

瀬

目

第

地

54

名

村上 浩烈奉行免牧野组 佐藤 喜代 正 司 奉 馬 土: 保 行 喰 町 免 村 田

土 村

上

長坂下モ沢

田

小菅 沢 屋 敷 \Box 野 大友 佐 真 小 藤 坂 島 坂 坂 藤 藤 野 昇 忠 輝 幸 光 重

佐 高 藤 藤 橋 沼 七 幸 喜 孝 兵 尚 助 中直根(中直根(鶴 上野 猿倉(上) 畑 提 針 百宅 谷 平 町 F Œ 亚 田 地 根 宅 渕

佐藤久 藤 原 右 直 大栗沢 木山

第

X 地 区

第 藤 藤 七 和利地 俊 区 新 30

村上

寿

下

宮 沢

藤

伏見 猿倉(下)

坂 坂

勘

兵

高

橋

茂三

本

屋

敷

舃

海 郎 康

28

名

下 小 処

小佐松々 大日 安倍 鈴 团 佐 佐 佐 佐 团 古 嶽 髙 遠 工 藤 藤 Ш 藤 藤 藤 部 関 山山松 Ш 木 石 Þ 辺 藤 木 弥惣 向 木 木 正千代 幸 文 重 金 正 隆 儀 宗 正 几 定 玉 男 雄 雄 喜 市 郎 男 雄 勝 助 雄 人 男 男 進 舘合新田 智 Щ 宮 蔵 両 八 土 舟 大 下 家 田 野 Ŧi. 小 葎 \mathbb{H} 家 日 海保 の下 新 0 新 前 場 吹 0 木 川 柴 琴 町 沢倉 沢田 路 下 鶴 田 前 \mathbb{H} 寺 通 田

斎藤 伊藤 良次 悟 次 東加伊斎佐佐打佐佐伊畠伊海藤藤藤藤々川々々藤山藤 木政一 木木 林 秀郎 彰憲 茂見 圭 金 宰 新 正 昭 長大松長立小中朴北新新的代 北 板 軽 葛 并 福 帳 坂 屋 山 坂 沢 炭 館 寄沢俣沢田沢沢場 内田沢沢

とり行地 欠員が 心ます。 発生 再選 伊正伊佐小山工大佐佐佐真藤木藤々野本藤友々々坂 小菊佐澤 東 東村鈴大佐 太鈴佐小 海 笠 々田海 山木友 地 Þ \mathbb{H} 木 · 木店二 木清治 木慶 原 木 林 木 林 和昭 強 静 征 志 郎久 雄 栄 小 羽 朴 堀 加 芦 小 松 高 松 徳 高 的 平 深 及 大 大 倉 羽 滝 麓 沢 谷 位帳 広 広 沢 切 山本 尾 位川尾 沢 岫 沢

平成 30 年度 地 開

催

状況と、各部門の事業進捗小松組合長の挨拶に続き、 2 月 組合員の皆さまからは様々なご質問がありまし 1 各部門の事業進捗状況等を報告しました。 日 金) から管内 参事・各課長が今年度の組合経営 4 地 区で座談会を開催 たが、 しました。 今

は森林環境譲与税(仮称)についてご紹介します。

【2月1日・ 由利 紫水館】 矢島地区

1.賀保地区 【2月4日・スマイル】

東由利地区

本荘・ 【2月8日・ウッディホールこだま】

岩城・大内地区

【2月7日・岩城道の駅】

自ら山林の管理が出来ない所有者の代わりに市町村 林環境譲与税 税の開始はH36年度からになりますが、 (仮称) につい てご説明下さい。 森林経営管理

Q

意向 31年度から前倒しで譲与税が開始され、 .調 査 一などが主な事業になりそうで はじめ は 山 林 所 有者

!をすることになります。

から管理委託することも可能になります。 になり、 有者などの 意欲 管理 Ш 注意欲の 一林は. のある林業関係者に市町村 市町 な 村で管理 11 所 有者、 すること 不在

平成30年度「地区座談会」

か。 理委託期間はどの程度になります

~下刈り~除伐など長期的な管理期間 最長 50 年となります。 皆伐~ 有 造 林

第24回 造林コンクール表彰授与式

法に基

が 山

林の

平成31年2月22日(金)本荘グランドホテルで第24回本荘由利森林組合造林コンクール表彰授与 式及び林業講演会を開催しました。今回のコンクールでは収穫間伐の部、枝打ちの部、幼齢林の部の 3部門、8名の方が受賞されました。

◇ 審 杳 講 評 ◇ (最優秀賞のみ紹介)

出展林分は、平坦地で幹線 道路にも隣接するなど立地条 件に恵まれた林分でした。そ の利点を活かし、これまで保 育施業が適期に実施されてお り、1回目の収穫間伐も7年 前に行われています。立木は 完満直通で、樹高成長も良く、 理想的な密度の美しい林分と なっております。

搬出された間伐材は、製材 用と合板用に加え、梢端部等 までチップ用材として有効活 用されていることも高く評価 いたしました。

… 受賞おめでとうございます …

由利地域振興局長賞 【収穫間伐の部】

寺田集落財産区 区長 須田和夫(仁賀保地区)

◆優秀賞 由利森林管理署長賞 【枝打の部】 堰口集落 総代 佐々木茂(由利地区)

幸夫(大内地区) 佐々木

【収穫間伐の部】

秋田県森林組合連合会長賞 【収穫間伐の部】

栗田 秀一(本荘地区) 【枝打の部】

院内財産管理会 会長 豊嶋美文(仁賀保地区)

本荘由利森林組合長賞 ▶入賞

【幼齢林の部】 重市(鳥海地区) 横山

【収穫間伐の部】 赤田町内会 会長

田口作内(本荘地区) 【収穫間伐の部】

昭一(由利地区) 畠山







情報 コーナー



日本の林業労働力の現状と課題

(1) 日本の人口の推移

● 「人口問題研究所」等の推計によれば、日本の人口は2004年 (H16年) の1億2,784万人を ピークに、今後、100年で100年前の明治後半の時代の人口水準 (約5,000万人) に戻るとも に、40数年後 (2065年) には、65歳以上の老年者が、2.6人に一人の超高齢化社会になると予 想しています。

秋田県においては、県の総人口がすでに100万人を割り、全国を上回る速度で人口減少が進んでいます。

● この推移の中で、注目しなければならないのが、15~64歳のいわゆる生産年齢人口です。生産年齢人口は、将来の日本の経済力や労働力等を推計するうえで非常に大切な年齢層です。

日本の生産年齢人口のピークは、"団塊の世代"が働き盛りの1990年代 (平成初期) の8,700 万人で、40数年後 (2065年) には、約4,500万人まで減少するとしています。

これは、他の先進国に比べ、減少率がかなり大きくなっています。

(2) 林業労働力の現状と課題

- 平成27年度の全国の林業従事者数は、約45,000人で、秋田県では、約1,400人となっています。木材価格が高く、林業が最盛期であった昭和50年代に比較すると、全国では31%、秋田県では14%となっており、本県における減少率が高くなっています。
- 近年は、国産材の需要が大幅に増大していることや高性能林業機械の導入が促進されたことなどから、伐木・造材などの素材生産部門での林業従事者数や35歳以下の若年者率も増加しています。このように、近年は、減少するスピードは緩やかになっていますが、高齢者の退職率などが依然として高く、全体的には減少が進んでいます。

これらは、本県においても同じ傾向で推移しています。

- 林業における65歳以上の高齢者の割合は25%で、全産業平均の13%に比べ2倍となっています。少子高齢化が進む日本で、人手不足は、全産業に共通する課題であり、特に、林業は、労働災害率の高い職種であることなどから、人手不足を解消することは容易なことではありません。
- スギの人工林資源は、全国的に活用できる時代を迎えており、需要も、年々増大していますが、 近年は、木はあっても人手がたりないという現象が、各地で報告されています。

政府では、「働き方改革」において、外国人労働者の確保などを政策として打ち出しておりますが、林業分野における実績は緒についたばかりです。



添添矿泥情報 (平成31年)

単位:円、上段(石当り価格) 下段 ㎡ 当り 価 格

			1月9日			2月4日			3月4日		
樹 種	材 長	径 級	本荘由利木材流通センター			本荘由利木材流通センター			本荘由利木材流通センター		
	m	cm	高 値	安 値	平均価格	高 値	安 値	平均価格	高 値	安値	平均価格
ス	3.65	14下							(2, 167) 7, 803	(2, 132) 7, 702	(2, 151) 7, 745
ギ		16~22	(3, 362) 12, 105	(3, 358) 12, 090	(3, 360) 12, 097	(3, 103) 11, 173	(3, 083) 11, 102	(3, 091) 11, 128	(3, 080) 11, 091	(2, 723) 9, 804	(2, 977) 10, 719
		24~28	(3, 615) 13, 017	(3, 614) 13, 012	(3, 615) 13, 015	(3, 634) 13, 085	(3, 510) 12, 636	(3, 579) 12, 886	(3, 667) 13, 203	(3, 201) 11, 527	(3, 455) 12, 441
出材量	・販売量・原	仮売率	1,202㎡(4,327石) · 1,202㎡(4,327石) 100%			1,418㎡(5,104石) · 1,130㎡(4,068石) 79%			1,,488㎡(5,356石) · 1,488㎡(5,356石) 100%		

- 1月: 県外勢も含め7名が参加し、全量落札となった。一部材質が劣る物件で価格を下げたが、それ以外では相変わらず高値が続いている。16~22cmで12,000円/㎡、24~34cmで13,000円/㎡で、量産工場が量をまとめた。
- 2月:原木不足がいくぶん解消されたことにより、やや弱含みの推移となった。量産工場は24cm上の在庫状況との絡みで応札しなかったため、約8割の売り上げとなった。
- 3月:原木不足のなか、県外勢も参加し満遍なく札が入り完売となった。価格も16~22cmで12,200円/㎡、24~28cmで13,500円/㎡と強含みで、量産工場が量をまとめた。

Tree house Project 〜第二の学び舎〜

秋田県立大学の学生と共にツリーハウスの作成を行い12年が経ちました。12年間の里山活動ではツリーハウスの建築だけではなく、地域交流や林家の方々との交流会、秋田の里山を活かした活動も行いまし

た。この活動を通して、学生が山林や林 業、木材に対する見 方が変化したこと が大きなポイント になります。正に木 育の効果がTree house Projectで実 践されたのです。





続きは 8月 秋田市 さとみ温泉の 発表で!

総務課からのお願い

賦課金納入時期が過ぎております。 未納の方は早急に納入をお願いいたします。

【取扱金融機関】 秋田銀行管内各支店 北都銀行管内各支店 羽後信用金庫各支店 山形銀行本荘支店 きらやか銀行本荘支店 秋田しんせい農業協同組合各支店

上記金融機関または、森林組合各支所で お支払下さい。 **退職者のお知らせ** 技能職員 林産販売課 林産販売課 (2月1日付(定年)

大内支所が移転しております

林業グループを全国的に取り上げ、

林業グループの発展、

各県の代表グループの発表内

で当組合の林業研究会の活動実績が認められ、

秋田県で1位を獲得致しました。

地域の振興・活性化を図る

向上を図るものです。

平成31年2月に開催された平成30年度林業グループ活動実績発表コンクー

この大会は全国林業研究グループ連絡協議会が、

《新所在地》

たにありませ

東北大会は8月に秋田県のさとみ温泉で開催されます。

活動・研修事例集」にも掲載されます

〒018-0711 由利本荘市岩谷町字日渡100番地 大内総合支所 第二庁舎2階

TEL 0184-65-3555

FAX 0184-65-3556



木材流通センター 由利本荘市西目町沼田字新道下 1019-1 TEL0184-32-1088 FAX0184-32-1089

製材工場『木香里』 由利本荘市西目町沼田字新道下 1020-1 TEL0184-32-1080 FAX0184-32-1081